



電子メールアドレス : o.fukusi@okinawa-j.jp



第 49 号

編集・発行

社会福祉法人

沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1

TEL 098-884-3173 (代)

FAX 098-882-5688

ホームページ : <http://www.okinawa-j.jp/>

職員研究発表会 及び QCサークル活動発表会

平成20年 1月25日 開催



沖縄県総合福祉センター
「ゆいホール」にて開催



二年ぶり！職員研究発表会

平成十九年一月二十五日に、当事業団の「職員研究発表会及びQCサークル活動発表会」が沖縄県総合福祉センターにて開催されました。民営化作業及び組織改変に伴い、二年間の中断がありました。昭和四十九年から始まった職員研究発表会も今年度で三十二回目を迎え、民営化後初めての研究発表会となりました。

午前中は、特別講演に自治体労働安全衛生研究会アドバイザーの野中幹男氏をお招きして、「快適な職場づくり」と題して講演をしていただきました。



午後からは、研究発表会及びQCサークル活動発表会が行われました。発表内容は以下のとおりです。

★研究発表

- ① 「姿勢におけるマネジメント」
都屋の里 理学療法士 伊波普献
- ② 「よみたん救護園における現状と課題」
よみたん救護園 介護員 牧門朋子
- ③ 「褥瘡ゼロを目指して」
八重山厚生園 介護員 長濱寛光

☆QCサークル活動発表会

- ① 「利用者様へ安心・安全な生活を提供する」
北嶺学園 生活支援員 上里育子
- ② 「入所者の病院受診における看護師の負担軽減」
うるま婦人寮 看護師 富名腰望

発表会の後には、質疑応答が行われ、他施設の現状やこれからの課題等を事業団全体で共有できたことは、これらの施設運営に、よい布石となったことと思います。

また、助言者の皆さまからは、各専門分野の立場からのきめ細かなご助言をいただき、感謝の意を込めてお礼を申し上げます。また、ご参加いただいた方へお礼の言葉を申し上げます。



二年間の経営計画策定作業を振り返って

事業団事務局勤務（県派遣） 上 間 丈 文



平成十八年四月、事業団は、沖縄県から二社会福祉施設の経営権を譲り受けましたが、

民営化した他府県の事業団に対する各自治体の支援内容とはほど遠く、しかも十二施設の県有地購入を条件とした厳しい民営化スタートでした。しかし、

事業団職員は、施設利用者の継続したサービスの質の確保を前提に、自らの勤務条件について、賃金の約二〇パーセント切り下げ等、これまで全国に例がない内部改革を事前に実施しました。それにより初年度の好決算となりました。

このような好決算状況でも、十二施設の全ての県有地購入を前提とした経営計画の策定は、通常の五年や長期十年の計画では困難で、二十年という相当長期の試算の前提での策定作業となりましたが、それでも、県有地全体の購入の見通しは立ちません。その状況を解決する方法として、五年毎の経営収支を鑑みて、その剰余金の中で買える範囲内で土地の購入計画を作り、それを五年毎に計画を策定するという方向性が県と合意され、県有地の問題は、引き続き検討することとなりました。

しかし、この方向性は、購入までの貸与期間についての有償・無償の争点を生み、双方のやり取りの結果、有償譲渡は凍結し、当面五年間、十一施設用地の有償貸与となりました。ただし、事業団の買い取りの求めがあれば、県有地購入の協議に応じることとしました。次期計画以降の対応については、経営状況等を見て、貸与について議論を行うという着地点になりました。

この大きな方向転換には、驚きでしたが、何より、事業団としては、買取りを求めないということであれば、当初の多額の有償譲渡の前提が消え、事業団の健全経営に有利な条件となりました。これらは、今回の経営計画の策定において、積算項目の評価、あるべき経営指標、そして県有地購入のあり方について、福祉経営コンサルタンの（株）川原経営総合センターによる意見や評価指導が大きな成果につながったものであります。

これまで、事業団は、先行して改革したことが功を奏していますが、今後とも絶えず、改革の手綱を緩めずに、これまで培った経験やノウハウを活かして、全国のモデルとなるような施設づくりを目指すと高い志で、日々研鑽を積み、福祉の現場を担っていた、きたいと思えます。何より事業団の明るい展望は、自分たちでグランドデザインを描き、それを築き上げることができるといふことです。

具志川厚生園リスクマネジメント研修報告



特養・養護老人ホーム 具志川厚生園
生活相談員 崎原 愛



の総点検
（食事以
設 備
務手順と
自立支援
の介助動
作）②業
務手順と
設 備
（ハード）

平成十八年度、介護事故が増加した為、平成十九年度は介護事故の再発防止に取り組んできました。しかし利用者のADLの著しい低下、介護員の欠員等もあり、思うような成果が見られず苦慮してまいりました。リスクマネジメント委員会ではサービス・業務の確認・見直しを進めながら、発生した事故の分析を行い、再発防止に向けた取り組みで情報の共有を図ってきましたが、剥離・擦過傷等なかなか成果が上がらない状況が続いていました。

平成十九年十二月あおいおいリスクコンサルティング山田滋氏による事故防止体制の診断と助言（研修・事故の検証）が三日間実施されました。
①安全な介護の基本手順の徹底（食事介助・入浴介助・車椅子での座位・自立支援の介助動作）②業務手順と設備（ハード）の総点検（食事以外）の生活時間の確保等業務手順見直しの必要性・昼間のくつろげる場所（ティールーム）の必要性③安全チェック手順のマニュアル化（安全確認動作が実施されているかのチェック）④個別利用者の危険へのアセスメントと対策（リスクアセスメントの不足）⑤イレギュラーな事態への対応方法のマニュアル化（医療機関との連携）⑥事故防止体制維持のための仕組みづくり（リスクマネジメント委員会の役割の再検討）等について検証・指導をいただきました。
介護主任・リーダーについては十八年度発生した事故の再分析・検証を個別に行い、今後の利用者支援に活かせる対策がなされました。又現状で事故発生が懸念される利用者への対策も行われました。
全職員を対象とした事故防止研修では、家族会会長を含め六十九名の参加者が熱心に聴講し、今後の事故防止・対策に決意を新たにしたいと思えます。



今回の研修を受講し、事故の再発防止と利用者の「その人らしい・家庭と同じ状況」での施設支援が出来るよう、疑似ユニットへの取り組みを開始しながら改善の成果をあげ、利用者・家族が「身体的痛み・精神的痛み・経済的負担等」を受けない介護、個別ケアの質の向上に決意を新たにし、職員一丸となって取り組みたいと思えます。

実習指導者特別研修会の報告

重症心身障害児施設 沖繩療育園
介護課長 新垣 貞美



社会福祉士及び介護福祉士法が改正され、二十四年度より資格取得は国家試験一本に統一されます。それと同時に教育内容の見直しを検討され、その中で介護実習が大きな比重を持つことになり、受け入れ施設においては介護実習者の養成と質の向上が重要となります。平成二十一年四月一日より受け入れ施設の実習指導者の登録資格要件が強化され、介護福祉士として三年以上実務に従事した経験があり、かつ、厚生労働大臣が定める研修課程（介護福祉士養成実習施設・事業等実習指導者研修課程）を終了した者であることと見直される予定であります。（平成二十一年四月一日から三年間は経過措置）

今回の改正を受け平成二十年一月二十五日から二十八日迄の四日間、神奈川県中央福祉学院で行われた全社協が実施する実習指導者特別研修会に参加しました。七十二施設八十名の実習指導者が参加し、関係者相互の情報交換や親睦を深める事ができました。一日目、介護実習の目標と課題の講義が行われ、介護福祉士の質の向上に向け

た取り組みの状況、養成施設のカリキュラムにおける実習の位置付け、内容、方法及び目標の理解について学び、二日目以降は、介護実習に関する専門的知識および教育方法を習得すると共に、実習指導の目的を再確認し、学生に施設現場で学んでほしい事項について、理解を深める為の講義とグループ演習がおこなわれました。

今回の研修を通して学んだ事は、施設が福祉サービスを必要としている利用者だけでなく、教育・生涯教育の実践提供の場としての役割を期待されていることです。「教えることは学ぶこと」、養成校の教育内容が新しい制度に向けた教育内容であることから、実習生を受け入れることで職員が知識の補充をし、質の向上にもつながる、また施設の生活や業務を見直す良いチャンスでもあります。
利用者が安心して暮らしていただけるよう次代の介護を支える人材を育成し、社会的にも評価される施設でありたい。その為にも多くの職員に今回の研修を受講できるチャンスを与えて頂きたいと思えます。

子年☆年男・年女語り広場



重症心身障害児施設 沖繩療育園
介護員 新垣 優太

平成十七年度に採用され沖繩療育園で介護員として勤めさせてもらい、二年目になります。今では、仕事にも少しずつ慣れてきました。まだまだ教わる事や学ぶ事がたくさんあります。また、プライベートでは趣味でやっているバスケットボールも今年から新しいチームになります。ますます仕事もプライベートも気合いを入れて頑張っていきたいと思っています。



救護施設 よみたん救護園
介護員 宮城 厚子

今年は「子年」十二支の最初です。子年生まれの人、こまめに働く人、よく機転の効く人、食いつ持に困らない人などと言われています。私は前の二つに当てはまるか？わかりませんが、そうありたいと願っています。子年は健康第一、マイペースで公私共に充実した一年となりますように頑張ります。



特養・養護老人ホーム 名護厚生園
介護員 宮城 慶太

名護厚生園に勤めてからもうすぐ二年が経ち、個人的に体調も崩すことなく、日々、介護職に務めています。今年はずいぶん年男です。一介護職員としては、まだまだ未熟者です。日々の経験、一日を大切に、ねずみの様に素早く、コツコツ努力し、飛躍の年になるように頑張りたいです。



特養・養護老人ホーム 名護厚生園
介護員 島袋あかね

二〇〇八年もあつという間に月日が流れ気がつけば……。過去を振り返ると、多くの方が支えあつて、日々楽しく過ごせる、今日の自分があると思ひ、改めて感謝の気持ちで一杯です。「年女」を迎え、これからも人と人の関わりを大事に、初心を忘れずステキな女性を目指して……。歩んで行きたいと思っています。



重症心身障害児施設 沖繩療育園
介護員 上地 博輝

私は沖繩県社会福祉事業団に採用されて早くも十三年、四ヶ所目の職場になります。目まぐるしく変わる福祉現場で、これからの周りのみんなと協力して、利用者個々のニーズに合った支援を行えるようにいろいろなことに挑戦して勉強していきたいと思っています。新たな目標を見つけ、楽しく仕事ができるように頑張ります。



知的障害者更生施設 あけぼの学園
生活支援員 川根 直美

四度目の生まれ年を迎えて、半世紀はもうすぐ。今が人生の折り返し地点だと考えています。事業団も民営化し福祉も激しい競争の時代となってきた中、気持ちは採用時の初心に戻し、これまでの経験を踏まえながら、より良いサービスを利用者の皆様に提供出来るよう心がけていこうと思っています。

施設長リレー エッセー

私の趣味と夢の実現に向けて

特養・養護老人ホーム 名護厚生園
園長 上 間 亨



事業団に採用される

ス ユミコ

以前から植物栽培（洋蘭、野性蘭、バラ）に興味があり、昭和六十三年に念願のマイホーム新築を契機に蘭ハウスを建て洋蘭、野性蘭等の栽培を手がけてきたが、洋風景観の自宅にあつた環境整備に目覚め、主にバラ栽培を手がける。蘭はほんの数株所持するのが一手杯。暑い沖繩でのバラ栽培は、土壌、ツル薔薇の品種の耐暑性（薔には寒さが必要）等に問題があり、望みどおりの景観が描けない状態であつた。バラに最適な弱酸性の土壌改良に取り組みながら沖繩に適したバラを作ろうと一念発起し、とげなしで一重でさくら色でよく咲くバラを目指し、本島北部の海岸でとげなしのランブラーローズを見つけ、これを片親にフランスメンタの交配を要したが、一重でピンク色を選抜し念願の第一号を作出した。かねてより第一号は、妻の名前を考へていたので、ミス ユミコと名づけその二年後に第一号を元に少々棘はあるが八重咲きを作出した。（ミセ

更に八重山に単身赴任時は、時たま帰る時に交配を重ね友人の孫の名前を冠したメイ、チャーミー等をプレゼントし、おかげで更なる家族交流が深まった。本島に戻つた後も、数種類を作り懇意にしている北部の園芸店主の孫の名前を提供し交流を深めている。仕事に関わる一環として、親しい施設、保育園等に植栽し施設の良好な環境整備や利用者等の情緒安定に役立てればと四く五箇所に交流の輪を広げている。

又、結婚当初からの長年の夢であつた定年後妻との外国旅行の夢の実現に向けオセアニア地域か、欧州へと思いをめぐらせている処である。現在は、懇意にしている福祉施設長と各福祉施設等に余剰品を植栽しながら、施設の問題解決の勉強会の場を兼ねた交流会の発足に向け準備中であります。

これからも、植物を介して交流の輪を広げようと考えています。

コミュニケーション紹介



重症心身障害児施設 沖繩療育園
理学療法士 大城 知佳

昨年九月から理学療法士として勤めています。私には一歳になる息子がおり、母親・新人PTとして奮闘している毎日です。最近では趣味を探しており、『紅型』に興味を抱いているところです。皆さんの知っているオススメの教室があれば是非、教えてください。PTとして女性として充実した毎日を送れるようになる事が私の目標です。今後多方面からのご指導を宜しくお願ひします。



重症心身障害児施設 沖繩療育園
准看護師 伊波 兼誠

沖繩療育園第一病棟に昨年十二月より勤務の准看護師、伊波兼誠です。出身は「やんばる!」の石川です。
家には彼女が三人、彼氏が一人います。(妻と三人の子供のことですが……)マイブームは、散策・ジョギングです。石川岳や億首川での野鳥・植物・虫の観察などなどです。四十歳になる今年はマスターズ陸上で短・中距離走への出場準備中です!リーメンバー募集中です!
園では利用者に癒される事が多い毎日です。楽しんでます!!



重症心身障害児施設 沖繩療育園
准看護師 安富祖 直美

平成十四年七月〜平成十五年十二月末まで沖繩療育園に勤めていました。その後他の職場へ移りましたが、療育園に入所している方が忘れられなく、再就職しました。今ハマっている事は、過去に観た映画で感動作(内容を忘れたもの)を改めて見直す事です。なんだか新鮮で、その当時のことが思い出され「年を取ったな!」と思えます……。今後の抱負は、これから自分の時間も増えてくるので、ショッピングや映画鑑賞を楽しみつつ、仕事も頑張つて良い年のとり方をしたいと思ひます!



宮古厚生園居宅介護支援事業所
介護支援専門員 田場 和子

沖繩県社会福祉事業団に就職し早三ヶ月が過ぎ、利用者の顔と名前がやっと一致出来るようになりました。
利用者の立場に立つて、サービスを含め社会資源等、情報を幅広く収集し皆さんに提供できるように、また、介護支援専門員として本人がどう思い生涯をどう過ごしたか?を常に傾聴し寄り添ってあげたいと思ひます。
どうぞよろしくお願ひします。
今ハマっている事は、バドミントン。
好きなタレントは、小栗旬です。

芸能の島八重山にて



特養・養護老人ホーム 八重山厚生園
看護師 志村 裕子

私は東京都出身ですが、とあるきっかけで八重山民謡に興味を持ち、三年半ほど前に石垣島に引っ越して来ました。
週三回ほど三線の稽古に通い、八重山古典音楽コンクールやいろいろな大会にも挑戦し、今では八重山の古謡も大好きになり宇石垣のユンタ会や青年会活動にも参加して地域行事にも出演させて頂いております。
幸いな事に厚生園という職場では、

お年寄りの好きな八重山民謡の唄や踊りが自然と耳や目に入って来ます。
八重山民謡を聴きながらお年寄りの顔を見てみると、こんなに素晴らしい自然や文化を築き上げ継承して下さった事に心から感謝の気持ちで一杯になります。
これからもこの気持ちを忘れる事なく「島の宝」である、お年寄りを大切に想い、仕事も、唄・三線も一生懸命励んでいきたいと思ひます。



重症心身障害児施設 沖繩療育園
介護員 長嶺 正英

夢?目標!!は日本代表チーム!?

皆さんはご存知でしょうか、世界的スポーツ「キンボール」を!ピンと来る方は少ないでしょうが、世界大会もある、海外ではプロもいるくらいメジャーなスポーツなんです。簡単にルールを説明すると、四人一組、三チーム(十二人)が、大きなボールをヒット、レシーブを繰り返すゲームです。他に細かいルールがありますが、かなり解りにくいので機会があれば次回紹介したいと思います。

私は療育園を中心としたメンバーで出場しました。結果は惜しくも準優勝でしたが、大半が初心者中心のメンバー編成では快挙というべきでしょうか。キンボール界の革命、だったと自負しています。
最後に、私の夢?目標!は、事業団として全国を制し、日本代表のチームとして世界大会に行くことです。事業団のメンバーが世界で戦うなんて、おもしろいのではないのでしょうか?興味があれば参加してみませんか。

「一緒に世界を目指しましょう!!」
PS..練習は毎週月曜日に療育園で行っています。

自由空間



漲水・あけぼの学園
園長 本村博昭

事業団採用三十五年の歳月が残り僅かとなり感慨深い。昭和四十七年四月漲水学園・児童指導員採用時の緊張感と業務に対する不安な気持ちを思い浮かべると光陰矢の如しである。その間・児童養護・知的障害児(者)・老人福祉施設(三厚生園)等で業務に携った。特に本島施設(北嶺学園)(具志川厚生園)(名護厚生園)の三施設では、単身赴任を体験し多くの利用者や職員達と肝ぐくるを交わし多方面で協力お世話頂いた。慣れない地域で戸惑う事もあったが、有意義に職務ができたことに感謝いたします。名護厚生園では、施設長という職責にあり北部区域の老人福祉の分野で、微力ながら大過なく業務遂行できた。とりわけ、秋篠の宮ご夫妻のご訪問には、利用者・職員・地域と関係機関が一丸となって熱烈歓迎し貴重な任務を経験できた。終盤は漲水・あけぼの学園・出身地の施設長を務めることが出来、身に余る光栄に属した。事業団も新たな方向性が示され、将来明るい展望が期待されます。職員の意識改革と人材育成により事業団の充実発展を祈念致します。

「寿福無量」

「寿福無量(めでたいことや幸せな事が限りなく起きますように)」



北嶺学園
園長 奥平弘一

沖繩の日本復帰と事業団創立の年に職のスタートに就き、三十六年間走ってゴールラインに到達しました。

斯業を取り巻く情勢の変遷に翻弄されながら、施設利用者の人生に影響を与えるソーシャルワーカーとしての重責を担ってここまで来ました。

振り返って、年は重ねたものの私的成果を問われると甚だ心許ない思いで恐縮しています。

事業団で多くの利用者や職員の間を経験させていただいた人間模様は計り知れないものであり、私にはかけがえない財産であります。

事業団経営施設が施設利用者にとつて基本的要求を十分満たし、安心安全で幸福感に包まれた生き甲斐のある生活の場であることを心から願っております。

今後、事業団が健全経営と高質サービス提供の両面から専門性を発揮し、地域福祉の先駆者として一層発展・貢献することを祈念し、併せて在任中に関係した皆様の多大なご厚情に深く感謝して職を退かせていただきます。



八重山厚生園
園長 島尻義政

この度、定年退職を迎えることとなりました。事業団に採用されたのが昭和四十七年三月です。漲水学園の開園式で、当時の理事長(琉球政府行政主席・屋良朝苗氏)より児童指導員の辞令を受け事業団の一員と成ったのが二十四歳の時でした。琉球政府や行政主席など、今では懐かしい本土復帰前の言葉です。

あれから早三十六年が経ち、光陰矢のごとし、歳月は人を待たずの心境です。

そして忍び寄る年波には勝てず、自身若き日の面影無く今やメタボリ人間です。在職中は単身赴任が八年間あり、各地で楽しい日々を過ごさせて貰いました。職場は、児童、老人、救護、知障の各施設を体験し、最後は八重山厚生園での二度目の勤務となりました。

ところで今、老人施設では全国的に介護職離れで、厳しい経営環境にあります。当園においても、厳しい施設運営を迫られています。

去る者としては、介護職員が早く充足され、安全で活気に充ちた施設活動が展開される事を願うのみです。そして、困難を乗り越え自立発展する事業団に期待します。

退職にあたり、皆様のご健康とご活躍を祈念いたします。三十六年間の長きに亘り有難うございました。



沖繩療育園
医務課長 米田元夫

定年前の慌しい日々が埋没していた時、「紺碧沖繩」の原稿を依頼されました。本部事務局より締め切りを急がされ、仕事の合間に勤務した七年半の出来事を振り返って文章を書きました。

沖繩療育園で勤務するまでは、重症の身体障害者が入園している事は知っていましたが、重度の身体障害者と重度の知的障害者が重複した障害者が入園していることは知りませんでした。

これまでの一番の思い出は、名護にある沖繩県立いこいの村の中のホテルに宿泊旅行を引率したこと。施設内で見せる利用者の普段の顔と違う生き生きとしたような笑顔でした。その翌日、本部にある海洋博水族館まで、バスから車椅子に利用者に乗せて移動したことなど、数々の思い出ができました。

沖繩療育園に勤務して、大変重い病気にかかわらず思ったより明るい利用者、又大変重労働の仕事にもめげず一生懸命介護している介護士さん、一晩中起きて看護している看護師さん、深夜遅くまで仕事している事務職の皆さんに大変感謝しました。

定年でこの施設を辞めるのは大変つらいですが、四月からまた新しい職場で老人医療に取り組みたいと思います。





よみたん救護園
園長 大 湾 朝 信

昭和五十七年十一月二十日事業団の北嶺学園の開園に伴い、庶務に採用され職員四名からの出発でした。その後、のいしみね救護園へと転勤し平成五年度救護課長に配置されました。職員にも恵まれ、利用者との関わり方「家族のように接する」をその時強く感じ、私の分岐点になりました。そこでは、職員の自主性を尊重し、EM農法等にも取り組みました。沖繩療育園では、二十三名の職員が二十五年間、他施設の経験が無いことを知り「考え方に変化を求めて」一週間他の施設に体験研修を致しました。更に食事時間の平準化にも取り組みました。事務局では三十周年記念事業等を職員OB関係各位等の沢山の方々のご協力を得ながら実施する事が出来ました。

都屋の里では、利用者と職員の本来の介護のあり方について両者話し合いながら取り組みました。よみたん救護園では、利用者の意向を聞き入れながら業務の標準化について職員と取り組んでいます。施設において職員が楽しく仕事の出来る現場作り、その事が利用者への最大のサービスにもつながると確信しています。二十四年間、多くの方々に支えられアツという間でした。本当にありがとうございます。



都屋の里三十周年記念祝賀会

身体障害者療護施設 都屋の里

利用者 仲 井 間 一

二月二十日(水) 創立三十周年記念祝賀会が行われました。

踊いクワデイーサーで幕を開け、友利管理課長からの経過報告に続き、小渡園長、大城次雄(利用者自治会長)、平良秀吉(都屋の里保護者会長)挨拶の後、利用者の伊波敬作さんが乾杯の音頭を行い、その後余興に移りました。「娘ジントヨ」おなじみの「我如古より子と姫グループ 敏風栄の会」宮里香代子琉舞道場の皆さんがボランティアで歌や踊りを約十曲披露し祝賀会に華を添えてくださいまし



た。

我如古より子さんの歌を間近で聴くのは初めてでしたが、歌はもちろんのこと「娘」から今は「お母さん」ジントヨーになっていきます」と話しも楽しく大変盛り上がりました。最後は全員でカチャーシーを踊って一部終了し、第二部の歓談と夕食に入りました。



また、ここまで私達を支えてくれた家族、OB職員、ボランティア等の皆さんも招待し共に三十周年を祝う事が出来心より感謝します。どうもありがとうございました。

事務局通信

定年退職

- 【沖繩療育園】
 - ▲ 医務課長・米田元夫
 - ▲ 漲水・あけぼの学園
 - ▲ 園長・本村博昭
- 【北嶺学園】
 - ▲ 園長・奥平弘一
- 【よみたん救護園】
 - ▲ 園長・大湾朝信
- 【八重山厚生園】
 - ▲ 園長・島尻義政

自己都合退職

- 【沖繩療育園】
 - ▲ 看護師・新田直美
 - ▲ 介護員・具志堅楨
- 【都屋の里】
 - ▲ 看護師・池原隆子、野原友子
 - ▲ うるま婦人寮
- ▲ 寮長・仲里光義
- ▲ 事務員・大村良子

【名護厚生園】

- ▲ 看護師・當間幸江、辺土名尚子
- 【具志川厚生園】
 - ▲ 生活相談員兼介護支援専門員・青山留美子
 - ▲ 介護員・安仁屋美和、小川由香里、上地美帆

県へ復職

- 【事務局】
 - ▲ 常務理事兼事務局長・与那城良光

遠遊会 「ミカン狩り」

救護施設 よみたん救護園
介護主任 仲松 吉晴

平成二十年二月七日(木) 本部町伊豆味へミカン狩りを実施しました。前日までは雨が多く実施出来るか不安でしたが、当日は天気にも恵まれ最高のミカン狩りでした。

ミカン狩りを計画するにあたり、利用者からミカン狩りを取り入れてほしいとの要望が多く計画いたしました。当園では一時ミカン狩りは途絶え、十数年ぶりのミカン狩りです。利用者 男二十七人・女十五人・職員十二人、実習生一人で計五十五人参加しました。

十時三十分園を出発、十二時ネオパーク内(ゴヤーハウス)にて昼食をとりました。十三時本部町伊豆味にあるミカン園に向ける出発、十三時三十分ミカン園に到着しました。ミカン狩りを始める前に注意及び説明をしました。①入園料は支払い済みである事。②欲しいだけ食べることができる事。③持ち帰りは一人一kgとする事。三点を話しミカン狩りを始めました。



参加された利用者の半数以上は初体験者であり一人八個食した利用者や昼食を食べた後で満腹してあまり食べきれなかったと話す利用者もいました。殆どの利用者は満足したようで今後も継続して欲しいとの要望が多くありました。

施設だより

ぎのわん車いすマラソン大会

重症心身障害児施設 沖縄療育園
児童指導員兼心理指導員 平川 亜紀

平成十九年十二月九日(日) 宜野湾海浜公園にて、第十九回ぎのわん車いすマラソン大会があり、沖縄療育園からは五名の方が参加しました。大会にむけて各参加者は、申告タイムの調整や練習・模擬試走をかさね、マラソン大会における意気込みの強さを感じられました。当日は晴天にも恵まれ、療育園OB、多くの職員の応援に笑顔で応え、練習の成果を発揮することができました。入賞者はいなかったものの全員完走!その表情は「来年こそは入賞」と心に期している様子でした。その後、家族と共に楽しく昼食をとり、当日の晴天のような暖かい一日を過ごしました。



具志川厚生園デイサービス

具志川厚生園老人デイサービスセンター
生活相談員 新里 健



私たち具志川厚生園デイサービスは職員六名で一日平均十七〜十八名(定員二十名)の利用者にサービスを提供しています。八時四十五分各家庭へお迎えに行き、センター到着後、水分補給、看護師によるバイタル、TPO

チェックで健康状態を把握します。それにより体操、レク、入浴が可能かどうか判断します。午前に体操、踊り、日常生活動作訓練(ピッチボールパレー、ボケネット、ボウリング、輪投げ、玉入れ、バタゴルフ等)を行います。又二ヶ月に一度、誕生会、生け花があり適宜ドライブ等も実施しています。十二時に昼食を摂り、十三時から入浴、休息、個別訓練等を行います。



入浴前、入浴後の利用者は、個別に散策、歩行訓練、色塗り、パズル、カラオケ等を行います。三時のオヤツは職員の手作りです。時々利用者も一緒に作り、好評です。十六時十五分利用者を各家庭までお送りしてデイサービスの一日が終了です。

宮古厚生園デイサービスの様子

宮古厚生園老人デイサービスセンター
生活相談員 砂川 正司



遠遊会 (来間島) デイサービスにおいては利用者相互の親睦と交流、また日頃の活動に変化を与え生活意欲の向上を図る目的で年間を通して様々な行事が行われています。

平成十九年度においては四月と十一月にグラウンドゴルフ大会、七月に保育園児との交流会、八月に納涼祭・シヨッピング、九月に敬老会、十月には遠遊会、年末の十二月には忘年会、一月に新年会、二月におやつ作りを行いました。利用者の皆さんそれぞれの行事に楽しそうに参加されていますが、この中で特に好評であったベスト3を上げるとすると二位「忘年会」、二位「遠遊会」、三位「グラウンドゴルフ大会」という順になります。

「忘年会」は、一年の締めくくりという事もあり当日は利用者の皆さん着飾り、おしゃべりをし参加されます。また、その日は月曜日から金曜日までの全利用者を対象としますので大変賑やかな一日となります。私達としては今後も利用者の皆さんに喜んで頂ける様な行事を計画・実施して行きたいと考えております。



遠遊会 (西平安名崎)